

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
社会学専攻 (一般試験)

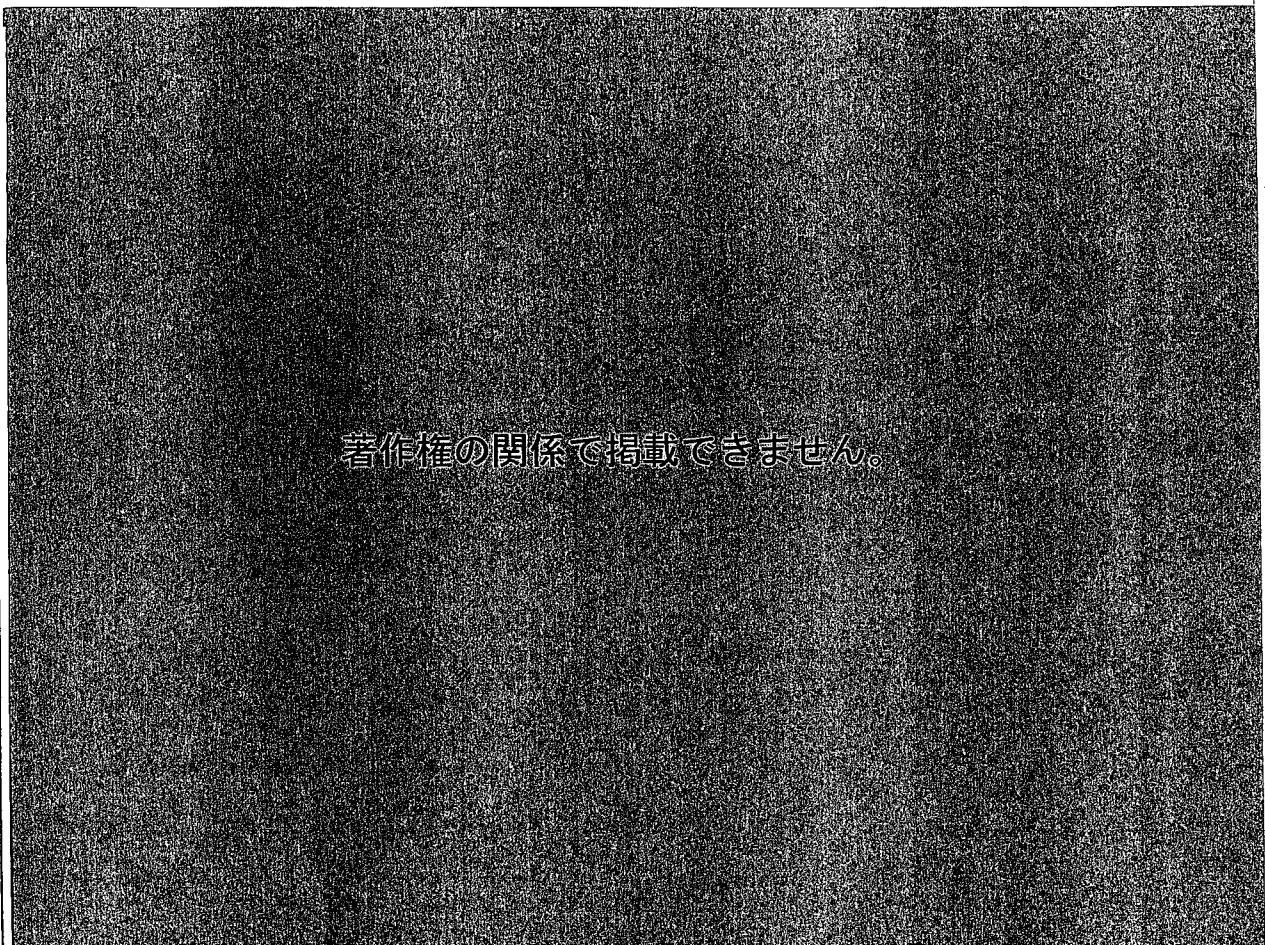
受験番号	氏名

(3 - 1)

辞書使用不可

《解答別紙》

問題Ⅰ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。



著作権の関係で掲載できません。

*dowry 持参金 ** absconding 失踪 ***turnover 離職

[Sven Beckert, 2014, Empire of Cotton: A Global History, chap. 13 より一部改変]

問1 空欄 a ・ b にあてはまる最も適切な語を答えなさい。

問2 下線部 (1) の女性たちに関する説明 ア～オのうち、間違っているものはどれか、答えなさい。

- ア 農村出身者が多かった。
- イ 1897年には、日本の綿工場労働者の79%が女性だった。
- ウ 若い女性が多く、15%は14歳だった。
- エ 典型的には、13歳で働き始めた。
- オ 典型的には、20歳で結婚を機に辞めていった。

(次頁につづく)

問3 下線部 (2) の extreme exploitation の内容を、本文に沿って説明しなさい。

問4 下線部 (3) に関する英語の説明 A ～ C のうち、合っているものはどれか、答えなさい。

- A Japanese mill owners campaigned to enact labor laws as much as possible.
- B Japanese mill owners negotiated to enact labor laws for 40 years using their civil rights.
- C The election system made it possible for Japanese mill owners reluctant to enact labor laws.

問題Ⅱ 結婚と子どもの養育に関する以下の英文(1)(2)(3)を、それぞれ日本語に全訳しなさい。

- (1) The percentage of never-married persons aged 18-34 who report that they “intend to get married someday” decreased regardless of gender, age, or “lifestyle” reflected in personal tastes and preferences (men: 81.4%, compared to 85.7% in the previous survey; women: 84.3%, compared to 89.3% in the previous survey).
- (2) The percentage of never-married persons who are in a romantic relationship remained unchanged at 21.1% for men and decreased slightly to 27.8% for women compared to the previous survey. At the same time, 1 in 3 never-married persons has no desire to be in a romantic relationship. Six out of 10 men and women have ever been in a romantic relationship with a person of the opposite sex (60.0% of men and 64.8% of women).
- (3) In terms of desired traits in a potential marriage partner, men increasingly indicate that a woman's financial ability is either important or a consideration (48.2% vs. 41.9% in the previous survey), while the percentage of women who consider a man's housework and childrearing attitudes and ability to be important has increased significantly (70.2% vs. 57.7% in the previous survey).

(Source: *Sixteenth Japanese National Fertility Survey*, National Institute of Population and Social Security Research, September 9, 2022, p.2: https://www.ipss.go.jp/ps-doukou/e/doukou16/Nfs16G_PressRelease_eng.pdf) 2023年1月4日閲覧。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《英語》

博士前期課程
社会学専攻 (社会人試験)

受験番号	氏名

(2 - 1)

英和辞書使用可 ・ 電子使用不可 《解答別紙》

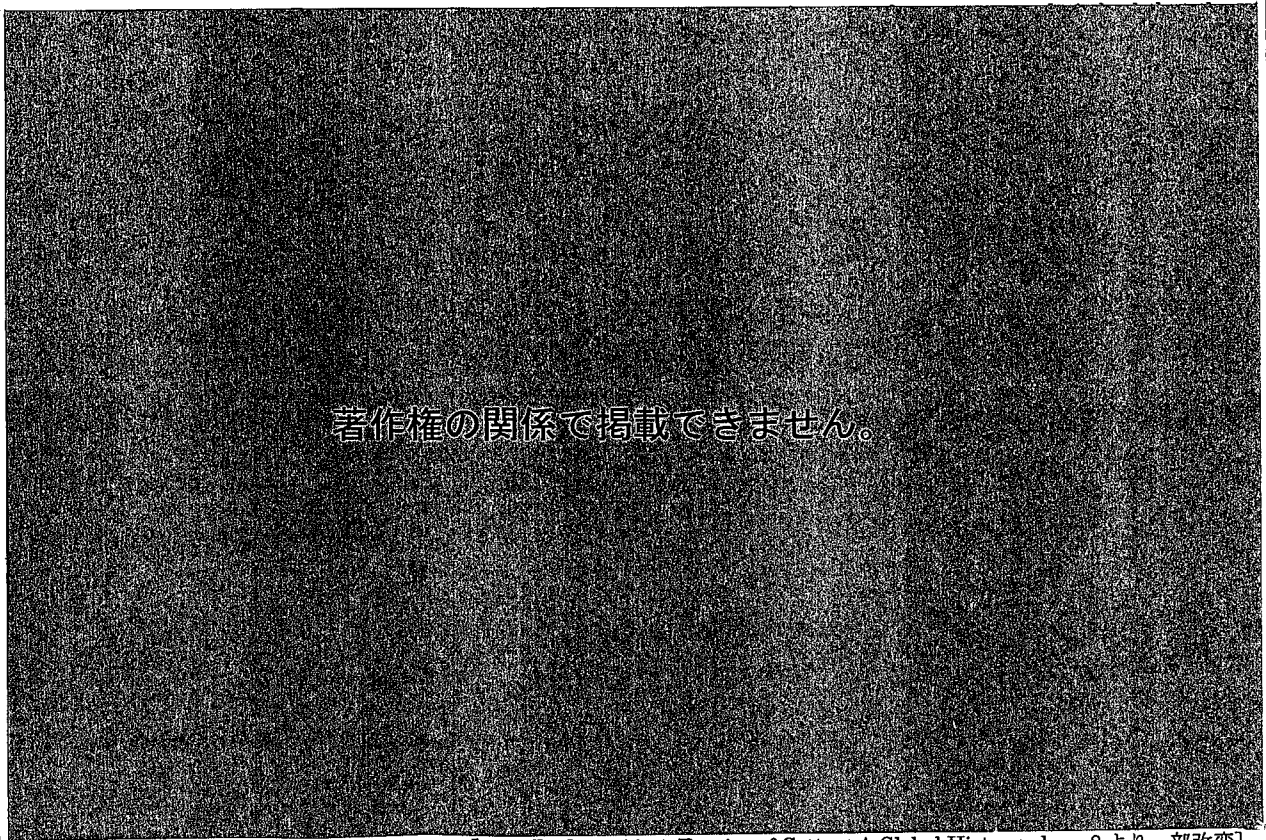
問題Ⅰ 以下の英文 [A] [B] の下線部(a)(b)(c)(d)を、日本語に訳しなさい。



* Metropolitan area 大都市圏

(Source: *DEMOGRAPHIA WORLD URBAN AREAS, Built Up Urban Areas or World Agglomerations*, 18th ANNUAL EDITION, July 2022, pp.2-5)

問題Ⅱ 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。



[Sven Beckert, 2014, *Empire of Cotton: A Global History*, chap. 8 より一部改変]

問1 下線部 (1) の the Rathbones、the Barings、the Rallis…と続く固有名詞は何を表しているのか、本文に沿って説明しなさい。

問2 下線部 (2) は具体的に言うとしたらどのようなことか。本文に沿って説明しなさい。

問3 下線部 (3) を日本語に訳しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

博士前期課程
社会学専攻 (一般試験)

受験番号	氏 名

(3 - 1)

《解答別紙》

問題Ⅰ 次の各問に答えなさい。

問1 下記の語句から2つを選び、それぞれ説明しなさい。

- | | | | |
|-------|-----------|--------|--------|
| ①文化遅滞 | ②社会的事実 | ③身分社会 | ④有意抽出法 |
| ⑤準拠集団 | ⑥サイバネティクス | ⑦社会進化論 | ⑧派生社会 |

問2 下記の書籍の著者名を下の選択肢から選んで記号で答えなさい。

- a 『ユカタンの民俗文化』(1941)、b 『自殺論』(1897)、c 『科学論論集』(1922)、
d 『社会静学』(1851)、e 『疎外と連帯』(1948)、f 『社会変動論』(1922)、
g 『貨幣の哲学』(1900)、h 『社会学原理』(1919)、i 『日本近代の新しい見方』(1965)、
j 『社会理論と社会構造』(1961)

【選択肢】

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| あ M. ヴェーバー | い H. スпенサー | う S. デ・グレージア |
| え W. オグバーン | お G. ジンメル | か 高田保馬 |
| き E. O. ライシャワー | く R. K. マートン | |
| け R. レッドフィールド | こ E. デュルケム | |

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

博士前期課程
社会学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(3 - 2)

《解答別紙》

問題Ⅱ. 次の文章を読み、以下の問題に答えなさい。なお、解答はすべて、解答用紙に記入しなさい。

都市社会学が誕生した 19 世紀後半から 20 世紀中頃まで、その主な研究の観点は大衆社会論的であった。つまり、都市の成長は、平準化されマス・アピールに操作されやすい流動的な大衆を生み出す。そして、大衆は都市社会のなかで、模倣と同時に個性化を追求するための消費をおこなってきた。

しかし、1970 年代に入ると、それまでの大衆社会論とは対象的な観点からの都市的生活様式に関する研究として、都市下位文化研究が発展した。その代表的論者が①C・S・フィッシャーである。

とはいえ、上記のような都市社会学の系譜には、「都市の成長が人びとの社会生活にどのような影響をおよぼすのか」という問いが根本にあった。一方、2000 年代以降の都市社会学においては、その問いと②「何が都市の成長を促すのか」という問いが融合し始めている。その代表的論者には、M・カステルや、S・サッセンなどが挙げられる。

こうした都市社会学の議論からも影響を受けて、2000 年代の都市経済政策に大きな影響を及ぼしたのが、③R・フロリダによるクリエイティブ・クラス論である。

出典：三田知実（2022）『グローバル化するアパレル産業と都市－裏原宿・表参道の都市社会学』花伝社。の引用を適宜変更し作成した。

問 1. 下線部①について、フィッシャーの「下位文化理論」とは、どのような内容か。その要点を簡潔に説明しなさい。

問 2. 下線部②について、なぜ 2000 年代以降の都市社会学においては 2 つの問いが融合し始めているのか。その社会的背景を説明しなさい。なお、その際には以下の用語を必ず用い、使用した箇所には下線を引くこと。用語は何回使用しても良い。

郊外化 フォーディズム グローバル化 知識社会化

問 3. 下線部③について、フロリダの「クリエイティブ・クラス論」とは、どのような内容か。その要点を簡潔に説明しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

博士前期課程
社会学専攻 (一般試験)

受験番号	氏名

(3 - 3)

《解答別紙》

問題Ⅲ. 以下の図を参照して、問いに答えなさい。

問 1. 図 1 と図 2 はコロナ下の就業状況を示している。それぞれの図を参照して、就業者数・雇用者数・休業者数の推移について、男女差の特徴に言及して記述し、その特徴の背後にある要因を考察しなさい。

問 2. 問 1 で答えた「男女差の特徴」が引き起こしうる問題についてあなたの考えを述べなさい。

図 1 就業者数・雇用者数の推移

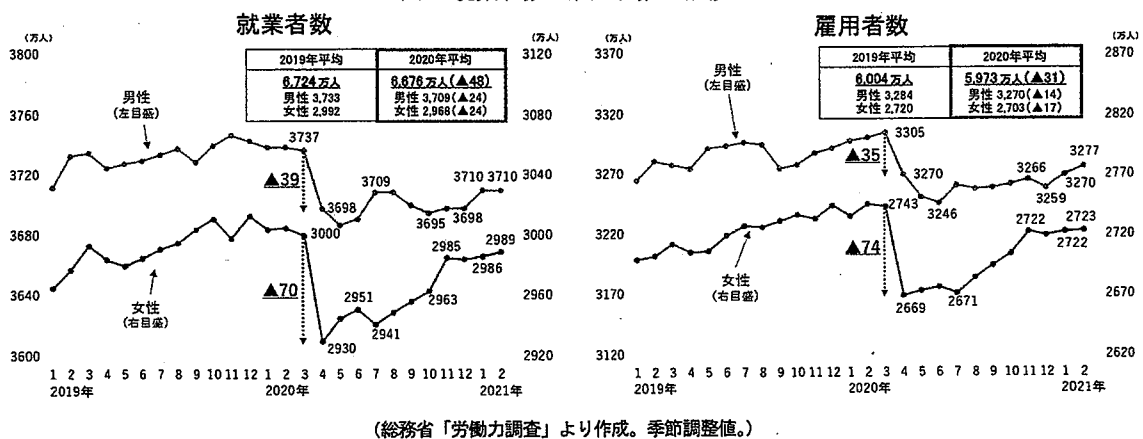
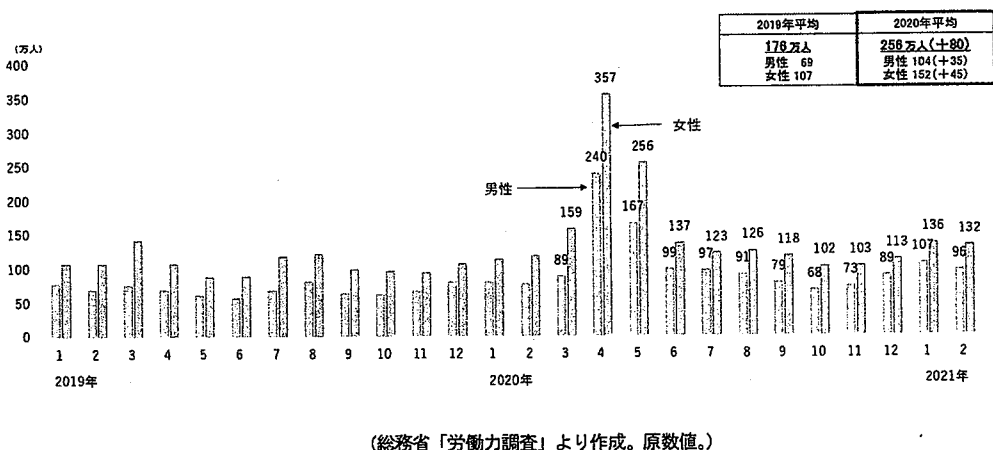


図 2 休業者数の推移



出典：内閣府男女共同参画局、『コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書』(p.8, 図-3 と図-4), (2023年1月12日)

<https://www.gender.go.jp/kaigi/kento/covid-19/index.html>

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

博士前期課程
社会学専攻 (社会人試験)

受験番号	氏名

(3 - 1)

《解答別紙》

問題Ⅰ 次の各問に答えなさい。

問1 下記の語句から2つを選び、それぞれ説明しなさい。

- ①超自我 ②アノミー ③対抗文化 ④無作為抽出法
⑤学校化社会 ⑥疑似環境 ⑦鏡に映った自我 ⑧社会進化論

問2 下記の書籍の著者名を下の選択肢から選んで記号で答えなさい。

- a『実証精神論』(1844)、b『社会静学』(1851)、c『権力と社会』(1924)、
d『ハマータウンの野郎ども』(1977)、e『芸術の規則』(1992)、f『経済学批判』(1859)、
g『社会組織』(1909)、h『脱学校の社会』(1977)、i『家族の研究』(1926)、
j『否定』(1925)

【選択肢】

- あ A. コント い H. スペンサー う 新明正道
え K. マルクス お C. H. クーリー か I. イリイチ
き 戸田貞三 く S. フロイト
け P. ウィリス こ P. ブルデュー

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

博士前期課程
社会学専攻 (社会人試験)

受験番号	氏名

(3 - 2)

《解答別紙》

問題Ⅱ. 次の文章を読み、以下の問題に答えなさい。なお、解答はすべて、解答用紙に記入しなさい。

都市社会学が誕生した 19 世紀後半から 20 世紀中頃まで、その主な研究の観点は大衆社会論的であった。つまり、㉞都市の成長は、平準化されマス・アピールに操作されやすい流動的な大衆を生み出す。そして、大衆は都市社会のなかで、模倣と同時に個性化を追求するための消費をおこなってきた。

しかし、1970 年代に入ると、それまでの大衆社会論とは対象的な観点からの都市的生活様式に関する研究として、都市下位文化研究が発展した。その代表的論者が C・S・フィッシャーである。

とはいえ、上記のような都市社会学の系譜には、「都市の成長が人びとの社会生活にどのような影響をおよぼすのか」という問いが根本にあった。一方、2000 年代以降の都市社会学においては、その問いと「何が都市の成長を促すのか」という問いが融合し始めている。その代表的論者には、M・カステルや、㉟S・サッセンなどが挙げられる。

こうした都市社会学の議論からも影響を受けて、2000 年代の都市経済政策に大きな影響を及ぼしたのが、㊱R・フロリダによるクリエイティブ・クラス論である。

出典：三田知実（2022）『グローバル化するアパレル産業と都市－裏原宿・表参道の都市社会学』花伝社。の引用を適宜変更し作成した。

- 問 1. 下線部①について、なぜ都市の成長は大衆を生みだし、その大衆は模倣と同時に個性化を追求するのか。都市社会学の源流である G・ジンメル議論を踏まえながら、その理由を説明しなさい。
- 問 2. 下線部②について、サッセンの「グローバル都市論」では、東京やニューヨークのようなグローバル都市はどのような性格を持っていると述べられているか。その要点を簡潔に説明しなさい。
- 問 3. 下線部③について、フロリダの「クリエイティブ・クラス論」や、やはり近年の都市政策に大きな影響を及ぼした「創造都市論」に対する思想的な支柱の 1 つが、J・ジェイコブズの書籍『アメリカ大都市の死と生』で展開された議論である。それはどのような内容か。その要点を簡潔に説明しなさい。

2023年度 大学院入学試験（春季）問題用紙《専門》

博士前期課程
社会学専攻 (社会人試験)

受験番号	氏名

(3 - 3)

《解答別紙》

問題Ⅲ. 以下の図を参照して、問いに答えなさい。

問 1. 図 1 と図 2 はコロナ下の就業状況を示している。それぞれの図を参照して、就業者数・雇用者数・休業者数の推移について、数値の水準と変化に着目して記述し、その特徴の背後にある要因を考察しなさい。

問 2. 図 1 を見ると、就業者数と雇用者数の推移は 2020 年 4 月から 2021 年にかけて、男女によって異なっていることがわかる。その違いが引き起こしうる問題とその問題への対処法についてあなたの考えを述べなさい。

図 1 就業者数・雇用者数の推移

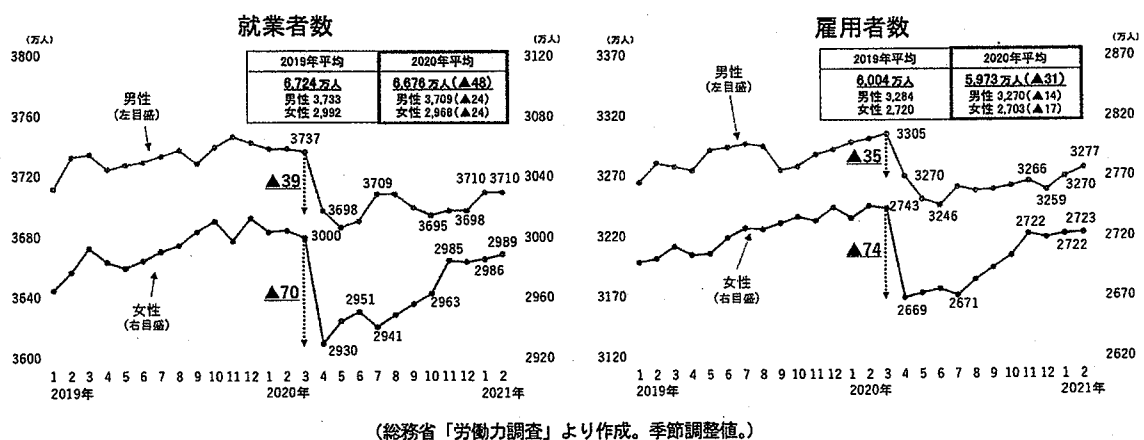
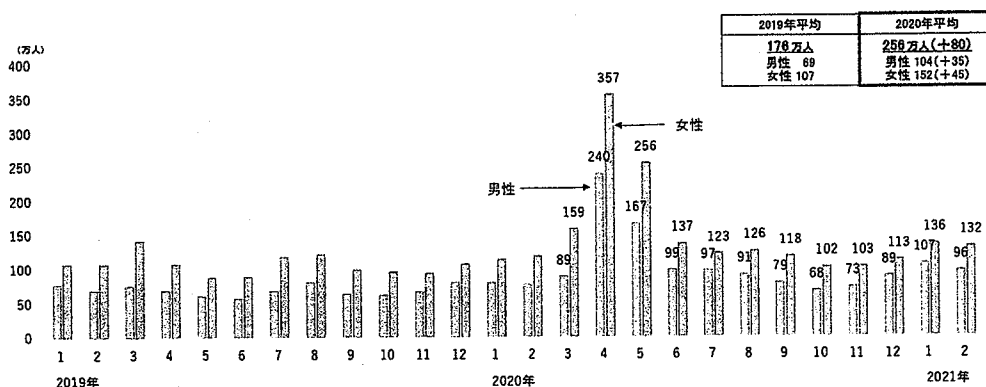


図 2 休業者数の推移



出典：内閣府男女共同参画局、『コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書』（p.8, 図-3 と図-4）、（2023 年 1 月 12 日）

<https://www.gender.go.jp/kaigi/kento/covid-19/index.html>